工学科 平成22年度

	工学科 平成22年度									
学 年	科	目名				担当教員	新庄 猛			
###	学	丘				履修条件	選択	単位数	2	
英麗						+				
学習目標	71	Ξľ	• • •				_			
学習項目 (時間数) 学習列達目標	学習目標		を育成する。計測システム構成では、基本的な量の計測や計測器の動作原理、特徴を理解している必要がある。そのために、基本的な計測法や計測器についても指導する。							
1. 疾程インドーゲンス(2) 高周波側定の問題点を理解する。 12:3 2. インピーゲンスを合(2) ボンベルの考え方(2) (4. 能対レベル(2) (5. 電圧レベル(2) (6. 相互の変換例(2) (7. 間間演習) 対験(2) (8. 評験返判、分析定数線路の基本式(2) (9. 反対係数と定任設比(2) (10. 級路上のインピーゲンス(2) (11. スミスチャートの原理(2) (2. V SWR とインピーゲンス(2) (3. 機路上のインピーゲンス(2) (4. インピーゲンス(2) (4. インピーゲンスの変体(2) (6. 財助質質質(1) (6. 財助質質質(1) (6. 財助質質質(1) (7. 年)が入水と下げミッグシスの変換(2) (7. 年)が入水と下にラシスの変換(2) (7. 年)が入水と下にラシスの変換(2) (7. 年)がよりのでは、一時間が表しいで、一動作原理や構成 (7. 年)が入水と下にランスの変換(2) (7. 年)がよりを受け、アイシロ波の発生が良いでは、一時間が表しいで、一動作原理や構成 (7. 年)が入水と下の変換(2) (7. 年)が入水と下の変換(2) (7. 年)が入水と下の変換(2) (7. 年)が入水と下の変換(2) (7. 年)が入水と下の変換(2) (7. 年)が入水の物性(2) (7. 年)が入水のが上の影談計の基礎を理解する。12:3 (7. 年)が入水の影響を関係を理解する。12:3 (7. 年)が入水のが、水のが、水のが、水のが、水のが、水のが、水のが、水のが、水のが、水のが、			学羽有日 (時間粉) 学羽到達日煙							
10. 線路上のインピーダンス(2)			1. 残留インピーダンス(2) 2. インピーダンス整合(2) 3. デシベルの考え方(2) 4. 絶対レベル(2) 5. 電圧レベル(2) 6. 相互の変換例(2) 7. 問題演習, 試験(2) 8. 試験返却, 分布定数線路の基本式(2)			デシベル	高周波測定の問題点を理解する。 D2:3 デシベルの考え方と利用法を理解する。 D2:3			
16. P形電子電圧計(2)			 線路上のインピーダンス(2) スミスチャートの原理(2) VSWRとインピーダンス(2) 線路上のインピーダンスの変化(2) インピーダンスとアドミッタンスの変換(2) 			スミスチ	スミスチャートの原理と利用法を理解する。 D2:1			
23. 演習問題, 試験(2) 24. 周波数カウンタ(2) 25. ヘテロダイン周波数計(2) 26. 空胴周波数計(2) 27. Fパラメータと影像パラメータ(2) 28. 抵抗減衰器(2) 29. 定K形フィルター(2) 30. 問題演習(1) 後期末試験 試験返却(1) 評価方法 定期試験80%, レポート, 平常点(出席率,授業態度)を20%の比率で総合評価する。 [27] で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	学習		16. P形電子電圧計(2) 17. ディジタル電圧計(2) 18. マイクロ波の電力測定(2) 19. Qメータ(2) 20. リアクタンス変化法(2) 21. 給電線の特性(2) 22. 給電線の特性インピーダンス(2) 23. 演習問題, 試験(2) 24. 周波数カウンタ(2) 25. ヘテロダイン周波数計(2) 26. 空胴周波数計(2) 27. Fパラメータと影像パラメータ(2) 28. 抵抗減衰器(2) 29. 定K形フィルター(2) 30. 問題演習(1)				を理解する。 D3:1, E2:1			
武験返却(1) 評価方法 定期試験80%、レポート、平常点(出席率、授業態度)を20%の比率で総合評価する。 履修要件 電気電子計測 I を履修していること。 関連科目 電気磁気学、電気回路、電子計測 I 、通信工学 教 材 自作のプリントを使用する。 第1級陸上特殊無線技師の学校認定希望者は履修のこと。第二級陸上無線技術士国家試験「無線工学の基礎」						回路網の				
評価方法 定期試験80%,レポート,平常点(出席率,授業態度)を20%の比率で総合評価する。 履修要件 電気電子計測 I を履修していること。 関連科目 電気磁気学,電気回路,電子計測 I,通信工学 教 材 自作のプリントを使用する。 第1級陸上特殊無線技師の学校認定希望者は履修のこと。第二級陸上無線技術士国家試験「無線工学の基礎」										
履修要件 電気電子計測 I を履修していること。 関連科目 電気磁気学、電気回路、電子計測 I 、通信工学 教 材 自作のプリントを使用する。 第1級陸上特殊無線技師の学校認定希望者は履修のこと。第二級陸上無線技術士国家試験「無線工学の基礎」			試験返却(1)							
関連科目 電気磁気学,電気回路,電子計測I,通信工学 教 材 自作のプリントを使用する。 備 考 第1級陸上特殊無線技師の学校認定希望者は履修のこと。第二級陸上無線技術士国家試験「無線工学の基礎」	評価	方法	定期試験80%,レポート,平常点(出席率,授業態度)を20%の比率で総合評価する。							
教 材 自作のプリントを使用する。 第1級陸上特殊無線技師の学校認定希望者は履修のこと。第二級陸上無線技術士国家試験「無線工学の基礎」	履修要件		電気電子計測 I を履修していること。							
### ### ### ### ### #################	関連科目		電気磁気学、電気回路、電子計測 I ,通信工学							
	教	材 自作のプリントを使用する。								
	備	考	Z							